

challenging 挑戦!

JA高知県の挑戦!

JA高知県は、組合員の皆様との約束の実現に向けて歩み始めます。
統合の効果をいち早く実感してもらえるよう、全力で取り組んでまいります。

副組合長
秦泉寺 雅一

農業所得増大対策室を立ち上げ



農業所得増大対策室は、JA高知県の自己改革を推進するための組織です。秦泉寺副組合長は、「JA高知県の司令塔として、将来に渡って地域農業の発展、農業者の所得増大に努め、稼げる農業の実現に取り組みます」と抱負を述べます。

今後は、担い手サポート事業の実施や出荷コスト低減のための集出荷場の効率的な利用に向けた再編計画の策定、組合員の大きな課題となる労働力の確保などに取り組んで行きます。



技術指導を高める

JA高知県の営農指導員のリーダーとして品目担当営農専門指導員を設置し、當農相談や技術指導、産地課題の解決など、その先導役を担います。

また、営農指導員間でタブレット端末を活用し、産地を超えた情報交換を行っていきます。

新人の指導員には、ベテラン指導員に帯同する教育制度も設け、組合員の期待に応えられる一人前の指導員としての成長を促しています。

農家の経営をもつと強く



農家の経営支援について、全国の優良事例としても紹介される機会の多い旧JA四万十。JA高知県では、この方式をモデルに県内の地区でも、記帳支援・経営分析を通じた経営指導、そして経営改善に意欲のある農家には個別経営指導が受けられるよう検討を進めています。

営農販売事業本部・竹吉常務は、「各地区の取組経過が異なり統合の改善が難しいですが、まずは、記帳支援がどの地区でも受けられるようシステム整備を図りたい」と今後の展開を話しています。

販売力を上げ、出荷コストを下げる



JA高知県園芸連の一元出荷販売体制は、合併に参加しないJA・専門農協も含め、JA高知県が担当します。JA高知県が持つ市場等と密着型の営業販売活動を行うことで販売力の強化に取り組んでいます。

生産資材をより安く



類似品の集約や大量ロット発注をもとに、全農等卸業者やメーカーとの価格交渉による仕入コストの低減を図ります。

また、肥料・農薬50品目は、競合先に負けない価格設定を目指し、実績数量だけでなく主要生産品毎に約2~3品抽出して低価格品を提供していきます。

さらに、地域の特性や時節に沿った渉外活動、予約注文書を活用した計画的な農業資材の購入提案、新製品の情報提供などで出向く体制を強化していきます。

県域生産者組織で所得向上を目指す



JA高知県園芸連の県域品目部会を立ち上げます。当初の品目部会は、キュウリ、高知ピーマン、シシトウ、高知ナス、ニラ、普通ショウガ、オクラ、小ナス・米ナス、ミョウガ、ユズ。

同じ目標を持つ県内の各組織が連携して活動することで、県内の利益の最大化と農業者の所得増大を目指します。

JA高知県の品目部会では、生産者の交流や消費者・実需者ニーズに関する情報、県域の販売戦略や出荷販売体制等の歩調を合わせて共有し意識の統一を目指していきます。なお、その他の品目は、従来の「品目販売会議」で対応します。

「とさのさと」は4月上旬にオープン



「できるのが楽しみ。」

そう期待を寄せていただく声も多い「とさのさと」は、4月上旬、

全国でも有数規模の大型直販店へとリニューアルします。取り扱う農

産物の種類や出荷量を増やすため、平成30年7月からは、各地域で組合員説明会を実施するなど、オープンに向けて本格的な準備を進めています。

また、同敷地内に設置する複合施設は、秋頃にオープン。セレクトショップやレストラン、イベント広場やキッチンスタジオも整備。高知の魅力や文化を発信し、地域の交流拠点を目指します。

